

支笏湖ビジターセンター便り

2022年(令和4年)12月号 Vol. 156



氷濤まつり
準備作業中



湖水を形に!



すくうと手のひらからこぼれ落ちる湖水。その湖水が形になって真近でじっくり観察できる貴重な機会が今年もやって来ます。湖水は11年連続で水質日本一の座を獲得した清涼なもの。形となった湖水はとても綺麗です。

支笏湖まつり実行委員会が只今制作中の「2023 千歳・支笏湖氷濤まつり」の氷像がまさに形になった湖水です。

制作準備は11月から始まっています。氷像の基礎となる鉄骨などを組んで作った骨組みの制作から始まり、気温が下がった時間帯に湖水を霧状にして骨組みに吹き付け、少しずつ氷を大きくしていきます。

コロナ禍の社会に対応しながら氷像群をデザインしてきたスタッフ達。今年も見事な氷像で支笏湖の自然を魅せてくれることでしょう。

「2023 千歳・支笏湖氷濤まつり
～氷の美術館～」 1/28～2/23 開催 まもなく開催!



昨年度の様子

この冬も堪能だ!
氷・雪・樹氷

「野鳥の森」遊歩道さんぽ



「休暇村支笏湖」
周辺の森を歩いて
見つけた 旬の自然
を紹介するコーナ
ーです

木に絡みついたヤマブドウのツルに、たくさん実が残っていました。今年の支笏湖地方はヤマブドウが豊かに実りました。そのためか12月に入っても食べられずにたくさん実が残っています。

写真の黒い実の粒をよく見ると、シワシワのものがほとんどで、パンと張ったものはほとんどありません。寒風にさらされて、水分が抜けたのでしょう。目の前の枝に引っかかっている一房を見つけたので、一粒口に含んでみました。驚くほど濃厚な味で、ブドウの甘みと酸味が口の中に広がりました。

冬場の鳥たちの貴重な食料になるに違いありません。

初冬の風不死岳(標高1102m)



支笏湖の南側に位置する「風不死岳(ふっぶしだけ)」は支笏火山が噴火して支笏カルデラを作ったその後の4万年前に噴火してできた山です。頂上まで樹木に覆われており、夏は森林浴をしながら、冬は樹氷などの景色を楽しみながらの登山ができ、多くの人に親しまれています。

写真は11月28日の様子です。北尾根コース8合目付近から頂上まで樹氷に被われ幻想的な世界が広がっていました。

美しい世界を見るには準備が必要です。11月23日は登山者の滑落事故が起こっています。冬山装備と安全管理をしっかりして登山してください!

支笏湖温泉 の気象

支笏湖畔の気温・降水量
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測～

気温(°C)			降水量(mm)		
	平年値	今年		平年値	今年
11月上旬	6.2	6.6	11月上旬	46.4	36
中旬	3.3	5.2	中旬	46.4	55.5
下旬	1.1	4.7	下旬	44.6	47.5
12月上旬	-1.2	-2.7	12月上旬	36.4	6.5

11月は気温が高めに推移し、月平均気温5.5℃は同月としては観測開始以来高い方から5番目でした。12月に入ってから気温は急降下、上旬の平均気温は-2.7℃と平年値より1.5℃も低くなりました。

日最高気温が氷点下の真冬日は12月1日。12月に真冬日初日を迎えるのは2020年から3年連続ですが、2000～2019年で見ると2005年と2012年、2013年の3回だけでした。

アクティブ・レンジャー日記

環境省支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブ・レンジャー（自然保護官補佐）
阿部 万純



北海道各地を巡回してきた「環境省アクティブ・レンジャー写真展 ～北の自然の舞台裏～」が、12月2日（金）から22日（木）まで支笏湖ビジターセンター多目的室で展示中！その後は1月6日（金）から18日（水）まで札幌会場（札幌第一合同庁舎1階ロビー）で開催します。道内各地のアクティブ・レンジャーたちが撮りためた自然や生きもののベストショットをぜひご覧ください。

「人気もの過ぎる」ので
今月も「シマエナガ」を紹介

シマエナガとは、日本では北海道の森林に住むエナガ科の亜種（住む地域によって色や形が少し変わったもの）の小鳥です。本州のエナガと異なり北海道のエナガは頭・顔が真っ白です。その姿から、雪の妖精といわれることもあり、「かわいい！」と人気になっています。

シマエナガ 豆知識



本州のお客様で見たことのない方は「旅行中にぜひ見たい！」とおっしゃっています。そんな方には「声を覚えると見つけやすいですよ」と館内の「バードボイス」までお連れし声を聴いていただいたり、姿の説明をしたりします。そこで気が付いたことは、正面からみたエナガの姿しか知らない方が結構いらっしゃるということです。あちらこちらで販売されているグッズのイラストは正面からのアングルが多いので無理はありません。展示物のシマエナガの尾羽が長いことにびっくりしています。

尾羽が
長い！！



ビジターセンタースタッフが監修したシマエナガマスコットは尾羽を長くして特徴を表していますよ



これが「柄杓(ひしゃく)」

名前の由来は、姿が柄杓(ひしゃく)に似ていることから。柄杓の柄のように長い尾羽を持つので「柄・長(エ・ナガ)」と付けられたようです。シマエナガのシマは、鳥＝北海道を表しています。

自然ふれあい行事参加者募集

1月27日（金）真っ暗支笏湖！
「ちょっとそこまで！スノーシュー体験」



参加費
スノーシュー
レンタル
無料

定員：10名
時間：16:30～18:00
内容：夜の森をスノーシューでゆっくりと歩きながら自然観察をします。「氷濤まつり」のライトアップ（試験点灯）を「ちょっと上から！」見下ろすこともできます。ご予約開始は12月27日からです。年末年始休館（12/29～1/3）の際はご予約を承れませんのでご了承ください。

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行
〒066・0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地
TEL 0123・25・2404
HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】 ※入館無料
4月から11月 午前9時から午後5時30分まで
12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで
(火曜日休館)
年末年始休館日 12月29日から1月3日まで